

# 日本情報考古学会第33回大会のご案内

日本情報考古学会第33回大会を下記の要領で開催いたします。今回の大会テーマは「文化財記録の新天地―課題と展望―」とし、それに関する特別講演・一般講演があります。それ以外の一般講演も多様な分野にわたる意欲的な研究成果が発表されることと期待しております。前回の大会に引き続き、意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第33回大会実行委員会

期 日：2014年9月27日（土）・28日（日）

会 場：東京農工大学 小金井キャンパス（東京都小金井市中町2-24-16） 工学部講義棟 L0022教室  
JR中央線東小金井駅南口から徒歩10分。

## 日本情報考古学会第33回大会 プログラム

第1日 9月27日（土） 工学部講義棟 L0022教室 13:00 開始、17:30 終了

13:00-13:10 開会式 大会実行委員長 植村俊亮

研究発表 1 13:10-13:30 少子高齢化社会の発掘調査―公開データから読む「すでに起こった未来」  
岡安光彦（株式会社四門 文化財事業部）

研究発表 2 13:30-13:50 前方後円墳築造に使用したもののさしの推定についての再考  
西村 淳（函館大学）

研究発表 3 13:50-14:10 古墳のデジタル計測におけるTIN作成のアルゴリズムとその利点、欠点―岡山県小造山古墳と小ぐる古墳の測量調査から―  
庄 政典（株）アクアプランニング）

研究発表 4 14:10-14:30 三角縁神獣鏡の同型鏡の共伴関係とネットワークの視覚化  
杉本厚典（大阪歴史博物館）

研究発表 5 14:30-14:50 鹿児島県内の古墳時代の須恵器の産地問題  
○三辻利一（鹿児島国際大学）、新東晃一（南九州考古学研究所）、中村耕治（（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）、永濱功治（鹿児島県立埋蔵文化財センター）、西園勝彦（同）、上床 真（同）

―休憩― 14:50-15:00

研究発表 6 15:00-15:20 新潟県上越市用言寺遺跡における災害履歴と人々の営み―考古学と周辺諸科学の総合的研究―  
加藤 学（公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団）

研究発表 7 15:20-15:40 江戸城石丁場遺跡の総合的研究（1）  
三瓶裕司（公益財団法人かながわ考古学財団）

研究発表 8 15:40-16:00 北部九州の甕棺墓および墓地における行為の復元の試み  
新屋敷久美子（（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）

研究発表 9 16:00-16:20 認知科学に根ざした考古学的鑑識技能研究：意義と方法論を中心として  
時津裕子（徳山大学）

―休憩― 16:20-16:30

研究発表 10 16:30-16:50 沖縄県久米島具志川城跡の地球電磁気研究  
○酒井英男（富山大学）、菅頭明日香（同）、米原実秀（同）、岸田 徹（同志社大学）、中島徹也（久米島自然文化センター）

研究発表 11 16:50-17:10 考古学における「個人」に関する試論―個人の実証的把握とその目指すもの―  
平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）

研究発表 12 17:10-17:30 土器における同一製作者「個人」の高精度同定法―方法論に関する暫定的まとめ―  
中園 聡（鹿児島国際大学）

懇親会 18:00より大学内の食堂（140周年記念会館エリプス1階）にて。詳細は後日ホームページでお知らせします。

第2日 9月28日（日） 工学部講義棟 L0022教室 10:00 開始、15:30 終了

研究発表 13 10:00-10:20 低視覚的屬性からみる土器カテゴリーの復元―製作者の態度に関する認知考古学的検討から―

黒木梨絵（（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）

研究発表 14 10:20-10:40 九州弥生時代中期における丹塗甕の検討―地域的変異の検出と比較から―  
太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）

研究発表 15 10:40-11:00 「折衷土器の製作者」再考―土器における「折衷」のメカニズムと評価をめぐって―  
平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）

**特別講演** 11:00-12:00

### 立体考古学の実践と展望

横山 真 先生（株式会社ラング 代表取締役）

12:00-12:30 総会、学会賞授賞式

―休憩― 12:30-13:00

13:00-13:40 ポスターセッション解説

研究発表 16 13:40-14:00 香川県小豆島町福田地区における博物館活動の展開  
川宿田好見（同志社大学文化遺産情報科学研究センター）

研究発表 17 14:00-14:20 考古学を多用した研究体験の実践―鹿児島国際大学における日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」の活動等に関わって―  
○若松花帆（鹿児島国際大学）、平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）

研究発表 18 14:20-14:40 古文書字形検索サーバの設計と試作

○末代誠仁（桜美林大学）、白井啓一郎（信州大学）、馬場 基（奈良文化財研究所）、渡辺晃宏（同）、井上 聡（東京大学史料編纂所）、久留島典子（同）、中川正樹（東京農工大学）

研究発表 19 14:40-15:00 手書き文字認識手法を用いたロンゴロンゴ記号の類似度  
山口文彦（慶應義塾大学理工学部情報工学科）

研究発表 20 15:00-15:20 失われた言語チュノムによる古文書の完全電子化に向けて  
○中川正樹（東京農工大学）、Phan Van Truyen（同）

15:20-15:30 閉会式 日本情報考古学会会長 植木 武

### ポスターセッション（13:00-13:40）

研究発表 21 考古学的分類技能の獲得過程：評定課題と主成分分析を用いて  
時津裕子（徳山大学）

研究発表 22 土器形態における低視覚的屬性の検討と有効性―低視覚的屬性間の相関性―  
黒木梨絵（（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）

研究発表 23 土器胎土の個体内均質性―民族考古学・実験考古学・先史考古学的研究素材の蛍光X線分析―  
中園 聡（鹿児島国際大学）

研究発表 24 鹿児島県内の平安時代の須恵器の産地問題（第1報）―中岳窯跡群、荒尾窯跡群、岡野窯跡群出土須恵器の相互識別―

○三辻利一（鹿児島国際大学）、中園 聡（同）、平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）、太郎良真妃（同）、白井菜実（同）、鶴田京佑（同）、下小牧 潤（鹿児島国際大学）

○大会参加費（「講演論文集」込み） 会員 2000 円、非会員 3500 円  
○当日受付もしますが、会員・非会員にかかわらずメールにて「大会参加」「懇親会出席」について、事前に学会事務局までお知らせくださいますよう、ご協力ください。archaeoinfoiuk@gmail.com  
○学内レストランは利用できません。昼食は各自でご用意ください。正門前のスーパーいなげやが便利です。  
○宿泊は、各自でご予約下さい。  
○詳細・変更は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/  
○お問い合わせ等は、学会事務局まで必ずメールでお願いします（調査で事務局不在のため）。archaeoinfoiuk@gmail.com

日本情報考古学会第33回大会実行委員会

植村俊亮（委員長）、山口文彦（副委員長）、末代誠仁（委員）、岡安光彦（委員）、中園 聡（委員）